

サークル紹介 6

バドミントン アンバーシャトルズ

メンバー募集中

「アンバーシャトルズ」は、元々がバドミントンの市民体の大会に集まったメンバーから始まったサークルです。

大会の後は反省会という『飲みニケーション』が楽しみで、バドミントンの練習を頑張る感じで、飲んべえシャトルズと呼んでいるメンバーもいましたが、これは現在も受け継がれています。

アンバーシャトルズのサークル名は、平成6年アンバートピア(現小久慈市民センター)がオープンした時に小久慈体協のバドミントンで頑張ってくれていた日澤志奈子さんが命名してくれ、現在までの28年の長い間続けているサークルです。〔代表の私(小上)はまだ頑張っています。〕

現在は14名のメンバーで、毎週木曜日、19時から21時半、市民センターで練習しています。

メンバーは 還暦過ぎた方から20代までと幅広い年代、他地域の方々とバラバラですが楽しく元気に活動しています。

メンバーは随時募集中ですので、初心者の方や経験者の方、興味のある方見学大歓迎です、一度見学に来てくだされば、笑いが絶えないサークルの雰囲気かわかるとおもいますので町内の方お待ちしております。



活動場所：小久慈市民センター

活動日時：毎週木曜日 19時～21時30分

代表：小上真理子(携帯 090-1062-4977)

冬の寒さを吹き飛ばそう!

小久慈ユニカール教室

小久慈市民センターで開催されたユニカール教室に延べ170名が参加しました。

この教室は、冬期の運動不足の解消と交流を目的に、11回の開催予定でしたが、コロナウィルス感染症の拡大もあり、1月23日～3月6日の間7回に減らして行われました。

参加した皆さんは、プレーで体を動かし和気あいあい作戦?のおしゃべりでリフレッシュ、寒さにも負けずユニカールを楽しんでいました。



ストーンの行方を全員注目!

小久慈まちづくり協議会が ウクライナ人道危機救援金に募金

ロシアが2月24日、ウクライナに軍事侵攻を行い、ウクライナ各地で激化している戦闘により、インフラ被害や子どもを含む多くの市民の死傷者が発生、多くの方々が、周辺国に避難している状況です。

日本赤十字社で、救済活動を支援するため行っているウクライナ人道危機救援金の募金を、小久慈まちづくり協議会でも、3月22日久慈市役所(日赤)に「ウクライナ人道危機救援金」として10,000円の募金をしました。

久慈市の各施設でも、ウクライナ人道危機救援金受付を行っており、小久慈市民センターの受付窓口にもウクライナ国旗の青と黄色の募金箱(5月20日迄)が設置されてあります。

皆さまのご支援をよろしくお願ひします。



ふるさと未来づくり事業 全体チーム会議を開催

小久慈朝市(5回:7月~11月) } 開催など報告
桜ウォーキング 4月22日(金)

小久慈地区では、平成28年から「これからも住み続けたいまち・戻ってきたいと思うまちづくり」を目指して、市地域づくり振興課の指導の下「ふるさと未来づくり事業」を取り組んできました。

約1年間ワークショップを重ね、テーマを絞り「カフェチーム」、「朝市チーム」、「小久慈焼チーム」、「桜チーム」で活動を始めました。

令和2年度に「じゅうね研究会」が発足し、未来づくり事業の一環として「じゅうねチーム」を加え実質5チームで活動しています。

各チームの活動を共有するため「全体チーム会議」を開催していましたが、コロナ禍でこの2年間は開催出来ませんでした。3年振りに3月16日(水)18時より4チームが揃い開催出来ました。

じゅうねチームは、多くのメンバーが他のチームと被っていることから、別立てで総会を含めチーム会議を開催することとしています。

はじめに、未来づくり事業の仕掛け人の二又地域づくり振興課長から「これまでの振り返り」として、平成28年の取り組み開始から3年度のまでの取り組みについて報告がありました。

もう5年過ぎました。各地区に入る機会がありますが、どこからも『小久慈では』と聞かれる。役所でも『小久慈は地域づくり活動が出来ている』と評価されていますと経過の報告とお褒めの言葉がありました。

その後4チームに分かれて、「振り返りと活動計画」を話し合い、又一同に会してチーム報告を行いました。(主な発表内容は2頁掲載)

最後に当初からご指導戴いている広田岩手大学名誉教授から講評を戴きました。

広田教授は「しばらくぶりに小久慈に入ったが、各チームとも元気な話し合いを行っている。前は後継者づくり、若返りを求めたが、高齢者が元気なのでこのまま続けましょう」と笑いを誘いました。

また、全体チーム会議後に書いたふりかえりカードの中に、「広田先生は講評で、『今日皆さんの活発な活動を見て感動』との言葉があり、全く同感を覚えました。『若い人を引き込んでやらせるのではなく、今やっている人たちが楽しむことが未来にもつながる』という言葉も同感で有り至言です。」との感想もありました。

後日全戸配布でご案内しますが、5月15日(日)に多くの皆さんにお出で頂き「これからも住み続けたいまち・戻ってきたいと思う小久慈」を創るための「交流会・しゃべり会」を予定しています。



小久慈

まちづくり通信

第67号

令和4年4月15日

小久慈まちづくり協議会広報委員会

久慈市小久慈町 21-47-14

小久慈市民センター

電話 59-3051

2・3頁記事

- ・ふるさと未来づくり事業活動計画等
- ・長内中学校特設合唱部銅賞受賞
- ・コーラスけやき25周年コンサート

4頁記事

- ・サークル紹介 アンバーシャトルズ(バドミントン)
- ・ユニカール教室
- ・ウクライナ募金

令和 4 年度 未来づくり事業活動

3月 16 日開催の「未来づくり事業全体チーム会議」で令和 4 年度の各チームの計画が発表されました。

※朝市チーム



● 朝市の開催

回数	月 日 (曜)	備考
第 1 回	7 月 3 日 (日)	参院選で第 1 週に
第 2 回	8 月 7 日 (日)	お盆で第 1 週に
第 3 回	9 月 11 日 (日)	
第 4 回	10 月 9 日 (日)	
第 5 回	11 月 13 日 (日)	

※基本は 7 月～11 月の「第 2 日曜日」午前 8 時からですが、参院選挙や他の日程との調整もあります。

※カフェチーム

- 朝市への出店を基本に、今年は「アイスコーヒー」も準備します。

※小久慈焼チーム

- 年 3 回の施設環境整理 (5 月連休前、お盆前、11 月の秋仕舞い)
- 朝市への出店
- 親子陶芸教室の開催

● 桜ウォーキング

※桜チーム

4 月 22 日 (金) 9:00～12:30

小久慈市民センター 9:15 出発 滝ダムまで (詳細は 4/1 発行 市民センターだより掲載)

・申し込み：4 月 18 日 (月) 迄

小久慈市民センター(59-3051)へ

桜を見に歩いてみよう - 小久慈は桜の名所です!



※じゅうねチーム

- 会員とエゴマ栽培の拡充を目指します。
- 加工品の製造販売 (エゴマ油、エゴマパウダー、その他エゴマ加工品を朝市で販売)
- じゅうねを活用した健康づくり、環境づくり活動の輪を広げる。

小久慈だヨ!
全員集合!!

5 月 15 日 (日) 10:00～ 小久慈市民センター

まちづくり交流会

詳しくは 5 月 1 日
発行のチラシで
ご案内します。

第 73 回全日本合唱コンクール東北支部大会 - 2021.9.25 山形市 やまぎん県民ホール

長内中学校特設合唱部 混声合唱 銅賞受賞

長内中学校の特設合唱部は、「合唱活動を盛り上げ、文化の香り高い学校を目指そう」「地域の皆様に心を込めて歌を届けよう」との目的から、平成 18 年に活動を開始。平成 30 年度までの間、NHK 全国学校音楽コンクールに出場。平成 19 年度から 21 年度にかけて、岩手県大会で銀賞 2 回、銅賞 1 回入賞しています。

令和元年から全日本合唱コンクールに参加。昨年度は、無伴奏合唱「われは海の子」(混声 4 部合唱)「斎太郎節」(混声 6 部合唱)の 2 曲を発表し、岩手県大会で、出場 2 回目にして初めて銀賞に入賞。この地区で初めて東北支部大会に推薦され、銅賞を受賞しました。

また、大会の後、東北支部大会の審査員を務めた本山秀毅先生(大阪音楽大学長。全日本合唱コンクール全国大会審査員)の推薦を受け、京都府長岡京市で行われている復興支援コンサート、「Harmony for JAPAN 2022」への出演依頼があったそうです。コロナ禍で中止となり実現はなりませんでした。長内中学校の合唱文化を全国に届ける機会を得られたことは、大きな自信となったことでしょう。これからの活躍が楽しみです。



写真提供：朝日新聞社

合唱グループ「コーラスけやき」がアンバーホール(小ホール)において 25 周年記念コンサートを開催。コロナ禍で一年延期されての開催でしたが、これまで練習を重ねてきた美しい歌声に、会場から大きな拍手が送られました。

25 周年コンサート コーラスけやき



1 月 16 日：アンバーホールに「コーラスけやき」の歌声が響く